

第7回坂出市学校再編整備検討委員会 会議録（要約版）

日時：令和4年4月27日（水）13時30分～15時

場所：坂出教育会館2階大会議室

○会議次第

1. 開会
2. 教育長挨拶
3. 議事
 - (1) 学校再編整備計画の中間まとめについて
 - ・坂出市学校再編整備計画の中間まとめ
 - ・坂出市学校再編整備検討委員会審議経過資料
 - (2) 「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告
 - (3) その他
4. 閉会

教育部長　　只今より、第7回坂出市学校再編整備検討委員会を開催します。
最初に山田教育長よりご挨拶を申し上げます。

教 育 長　　本日はご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。今回は学校再編整備計画の中間まとめを成案する会となります。これまでたくさんご意見をいただきましたが、本日も色々な面からご意見をいただけたらと思います。

教育部長　　会議に入る前に、当検討委員会の要綱により、出席委員が過半数を満たしていることから（委員総数10名のうち10名出席）、会議が成立していることをご報告します。

次に新年度になり、小・中学校長会代表委員の異動がありましたので、ご紹介させていただきます。

（新委員の紹介）

それでは、議事に入ります。委員会設置要綱第5条第1項の規定により、会長に議事をお願いします。

会 長　　それでは議事に入ります。まず初めに、議題（1）坂出市学校再編整備計画の中間まとめについて、を議題とします。事務局より資料の説明をお願いします。

事 務 局　　（配布資料の説明）

会 長　　事務局より資料の説明がありました。当資料に関して、委員の皆様

からご質問やご意見等がありましたらお願いします。

委員 人口減少によって子ども同士や保護者間の繋がりが希薄になってきているので、学校種毎より小中一貫校で学校再編をしていくのが望ましいのではないかと思います。

委員 小中一貫校の場合、敷地を十分に確保できるのかが懸念されます。
委員 残った校舎をどうするのか、新しい校舎はどうしていくのかを十分に練っていないと、地域の繋がりを大事にする地元には、中々理解が得られないのではないかと思います。

委員 2000年代に入り、不登校や自殺、中1ギャップが全国的な問題になりました。子どもを地域で育てていくのが難しくなっている中で、小中一貫校が全国的に導入されている背景がありますので、学校再編もその方向で進めて行く方が望ましいと思います。

委員 中1ギャップの問題を埋める解決策の一つとして、小中一貫校を導入することは良い案だと思いますが、子どもがその壁を乗り越えることでたくましく成長していく面もあるので、そのハードルを失くしていくことが必ずしも良いとは言えません。

委員 交流の里おうごしでの後継者不足の問題があるように、学校再編においては市全体が持続可能な発展をしていくことも考慮していかなければなりません。

委員 小中一貫校で、小学生と中学生が同じ環境で学習できることは、幅広い年齢層でコミュニケーションや交流が図れる等のメリットがありますが、同じ敷地内で異なる文化を持つ小学校と中学校をどう結び付けていくのか、またハード面における課題も考えられます。

会長 それでは、以上の内容で、当検討委員会として、最終に近い形という位置付けでの中間まとめにしたいと思います。如何でしょうか。

委員 (異議なし)

会長 それでは、今回の中間まとめとして決定します。この中間まとめについては、前回、事務局から説明がありましたように、パブリックコメントを実施することになるかどうかと思いますが、パブリックコメントも含めて、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。

事務局 (今後のスケジュールを説明)

会長 今回の説明では、パブリックコメントを募集するのに6月いっぱいかかるので、5・6月中はこの検討委員会は開催しないということになるのでしょうか。

事務局 特別なことがない限り、開催しないということになるかどうかと思

ます。各委員には大変な役割を担ってもらっていますが、パブリックコメント募集期間ということもあり、特に地域や各組織の中での議論を深めて頂ければと思います。

また、6月中を目途に前回予定しておりました東かがわ市での先進地視察を出来たらと思っております。日程については、先方との調整の上、後日ご連絡致します。

会 長 7月の第8回目の検討委員会では、パブリックコメント実施による意見集約や、議会の意見等の資料を掲示して頂けるのでしょうか。

事務局 その予定です。それらの意見や要望等を踏まえて、最終答申に向けてご審議頂きたいと考えております。

会 長 それでは次に、(2)「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」の最終報告について、を議題とします。事務局より資料の説明をお願いします。

事務局 (配布資料の説明)

会 長 事務局より資料の説明がありました。当資料に関して、委員の皆様からご質問やご意見等がありましたらお願いします。

委 員 教室と廊下の壁を取り払った教室は見た目が綺麗でいいなと思いますが、刺激に弱い子どもや発達障がいを抱える子どもにとっては苦痛となる可能性があるのでは、先進地での取り組みを参考に出来ればと思います。

委 員 GIGA スクール構想で端末が一人一台配布されたので、市立図書館と連携して、図書館の本が電子書籍で読めるような仕組みが出来れば、子どもたちの読書意欲の向上に繋がるのではないかと思います。

委 員 学校の様子が家で閲覧できるような仕組みや環境が整備されたら、不登校の子も授業と一緒に受けられるようになるのではないかと思います。

会 長 それでは議事の最後の(3)その他についてですが、事務局より何かありますでしょうか。

事務局 次回の日程についてですが、パブリックコメントを実施した後で、コメントを取りまとめるとなると、7月になります。かなり日数が経過しますが、7月の最終週辺りでどうでしょうか。

会 長 それでは次回の日程は7月22日、金曜日の10時からお願いします。委員の皆様で、そのほか何かありますでしょうか。

(特になし)

会 長 特にないようですので、以上で本日の議事を終了します。

以上

以上のとおり相違ないことを確認し、ここに署名します。

令和4年5月15日

会 長

毛利 猛

会議録署名人

泉 本 天 樹